

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成22年9月16日

施設名	青少年体育館	所管課名	生涯学習課
-----	--------	------	-------

1 施設の概要

指定管理者名	(財)高知県青年会館
指定期間	平成21年4月1日～24年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町八田1767
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関すること ・施設及び設備の維持管理に関すること ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関すること ・主催事業を計画し、実施すること <p><平成21年度主催事業> 体力づくり教室 (スカッシュバレー)月・水曜日 (卓球)月曜日 (バレーボール)火・水曜日 (バドミントン)木・金・土曜日 小学生スポーツ教室 (卓球・新体操・バレーボール・バドミントン・バスケットボール) 青少年フェスティバル 初心者卓球教室 初心者バドミントン教室 第12回小学生ドッジボール秋季大会 小学生男子バレーボール教室 小学生バスケットボール教室</p>
施設内容	青少年の健全育成並びに県民の健康増進及び体育の振興を図り、併せて社会教育活動の用に供することを目的としている。 利用開始日:平成3年12月1日 建築物:鉄筋コンクリート一部2階 施設概要: 1階アリーナ 1,728㎡ バスケットボール2面 バレーボール3面 バドミントン10面 卓球15台 ハンドボール1面 テニス3面 トレーニング室 144㎡ 会議室72㎡×2室 更衣室・シャワー室 2階閲覧席 1500席
職員体制	館長1名(高知青少年の家所長兼務) 館長補佐1名(高知青少年の家事務長兼務) 事務員1名 指導員3名 計6名

2 収支の状況

		H20年度(決算)	H21年度(決算)	H22年度(予算)
収入	県支出金	36,456,676	36,958,439	37,019,000
	事業費収入	0	0	0
	使用料	3,988,356	3,966,473	3,988,000
	収入計 (a)	40,445,032	40,924,912	41,007,000
支出	事業費	447,960	443,705	452,000
	管理運営費	15,580,637	16,176,730	15,959,000
	人件費	18,657,297	18,578,141	18,867,000
	消費税	1,770,782	1,759,863	1,741,000
	支出計 (b)	36,456,676	36,958,439	37,019,000

3.利用実績

(1)利用団体数

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均
団体数	1,744	1,667	1,531	1,500	1,524	1,593

(2)利用者数

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均
人数	68,165	64,565	63,745	70,970	66,088	66,707

4業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県民の健康・体力の維持向上と生涯スポーツのきっかけづくりを目的に、平成17年度より各種競技の初心者スポーツ教室を開催している。教室終了後はほとんどの方が自主クラブをつくり、当体育館で年間を通してスポーツに励んでいる。 ○伊野スポーツセンターへの宿泊団体に、青少年体育館と青少年の家の利用をPRしている。また、継続して利用いただいている県外大学へも来館を呼び掛けることにより、宿泊施設と青少年体育館の利用が継続されている。 ○利用団体の代表者に対して、施設利用のお礼と今後の利用についてのPRを兼ねたはがきを年2回送付した。受け取った方からは返信をいただくこともあり、利用促進に向けたフォローアップにつながっている。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○勤務体制を変更した大規模な大会時への対応、また夜間利用を22時まで延長するなどして、利用者サービスの向上を図っている。 ○主催事業参加者全員と施設利用団体の代表者へのアンケート調査を通じて、利用者ニーズ等の把握に努めている。また、トレーニング室利用者に対して、筋力アップや健康づくりの講習会に関するアンケートを新たに行った。 ○平成20年度に作成した「緊急時対応マニュアル」「緊急連絡網」の職員への周知徹底を図った。 ○国の経済対策による臨時交付金を活用し、トレーニング機器の購入、体育館屋根等改修工事、アリーナ照明設備改修工事、バスケットゴール修繕等を実施した。
③施設の運営について	<p>施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職員をスポーツ指導者研修(青少年センター主催)・スポーツ施設等安全管理講習(スポーツ健康教育課主催)・危険物安全講習会(高知県消防学校主催)・第13回四国ブロック体育施設研究協議会(四国4県体育施設協会等主催)に参加させ、前年度指摘のあった職員の資質・指導力向上に努めている。 ○新型インフルエンザの流行に対して、消毒液の設置や注意を呼びかける張り紙をするなどの取り組みを行い、施設での感染拡大を防止した。
④利用実績	<p>○平成20年度と比較して、利用団体数は24団体増加したが、利用者数は4,882人減少した。</p>

⑤収支の状況	<p>○平成20年度と比較して、使用料収入は21千円の減収となった。これは、利用団体数は増加したが、利用者数が減少したことが理由と考えられる。また、管理代行料については、当初予算額のほぼ全額の支出となった。</p> <p>平成21年度予算額 37,002,000円 残額 43,561円</p>
総合評価	<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね事業計画のとおり管理運営されている。 ・継続的に利用いただいている県外大学に対して、関連施設と一体となった来館PRを行っている。 ・前年度指摘のあった職員の資質・指導力向上に関する研修に、日頃より意識して取り組み、スポーツ指導者研修(青少年センター主催)を始めとして、多数の研修会に参加させている。 ・筋力アップや健康づくりの講習会の開催について、トレーニング室利用者に対してアンケートを実施し、利用者サービスの向上に取り組んでいる。 ・今後、さらなる向上を目指して、以下のことに取り組んでもらいたい。 <ul style="list-style-type: none"> ①高知青少年の家が隣接しているという特色を活かして、両施設を一体的に利活用するための施設運営 ②利用者の立場にたったホームページの見直し

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの